

一 調査事項 川内川河川激甚

河川改修対策調査 特別委員会



萩市行政視察

市の二市を視察し、離島航路の現状と市の取組について研さんを行った。

両市ともに航路問題は道路と同じ位置付けととらえており、離島振興のためには、いかに利用率を高めるかが大きな問題となっている。

甌島航路が、島民の生活の利便性を高めるとともに、宝の島として観光客を誘引するための起爆剤となるように、今後の航路のあるべき姿を見極め、提言を行っていききたいと考える。

害対策特別緊急事業に係る現地調査

二 調査先 市内及びさつま町

三 調査年月日 七月十日

四 出席委員 今塩屋委員長、持

原副委員長、瀬尾委員、古里委

員、石野田委員、高橋委員、宮脇

委員、谷津委員

五 調査の目的

川内川河川激甚災害対策特別急

事業実施箇所の現地調査を行うこ

とにより、事業の進捗状況を確認

する。

六 調査概要

川内川河川事務所（事業概要）

樋渡地区、楠元地区、五社下地区、

南瀬地区、さつま町虎居地区の推

込分水路及び久住地区

七 所感

各地区の工事状況からして、川

内川激甚災害対策特別緊急事業は、

平成年二十二度未完了を目指して

順調に進捗中であることから、

川内川の下流域に位置する薩摩川

内市街地に係る堤防の強化策を急

がなければならぬことは明白で

ある。

これが、本年十月ごろから来年

の出水期前までに完了予定で、向

田地区堤防の質的整備という堤防

の強化事業が計画実施されること

は、水害のない安全安心なまちづ

重要でありがたい施策であると考えられる。

この事業が、川内川有効利用の

起爆剤となり、ハード・ソフト両

面からも、更なる利活用ができる

よう期待したい。

一 調査事項 河川の利活用によ

る中心市街地活性化等に係る行

政視察

二 調査先 徳島県徳島市

三 調査日 七月二十一日から

二十三日まで（三日間）

四 出席委員 今塩屋委員長、持

原副委員長、瀬尾委員、古里委

員、石野田委員、高橋委員、宮脇

委員、谷津委員

五 調査の目的

本市と同様、中心市街地に河川

があり、その河川を有効的に利活

用し、中心市街地の活性化に努め

ている徳島市の取組状況を視察し、

中心市街地における河川環境と公

園整備事業などの取組と、官民の

役割分担、本市への応用、展開を

検討するものである。

六 調査概要

徳島市

新町川水際公園について

七 所感

我が薩摩川内市も、市の中心に

どないことなどの根本的な相違点はあるが、河川及び河川敷の利活用に着目した点は、大いに参考にすべきである。また、新たに文化をつくり、守り育てるという意思を持ち、第一線で運営されている方々の郷土愛と積極性、そして、

これらをバックアップする国や自治体、地元企業の理解力と連携が

渾然一体となり、実現されている

姿は、地方自治の将来にわたる、

あるべき姿を感じるものであった。

川を市民全体の共有財産として認

識し、きれいな川を子孫に引き継

ぐことの大切さを改めて知る機会

となった。



徳島市行政視察